

## 目標達成計画

作成日:平成29年6月1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		身体拘束について。センサーマットを利用しているご利用者がおられるが、職員の努力で利用しているご利用者を減らす取り組みをし、成果をあげている。さらに取り組みを進め、センサーマットの利用を可能な限り減らしたい。	グループホーム内でのセンサーマットの利用を現在の半分にする。	職員だけでなく、ご家族にもセンサーマット利用を含む身体拘束について問題をお話し、取り組みへの理解と協力を得る。センサーマット利用に替わるご利用者の安全を守るための方策を職員で話し合う。	6ヶ月
2		チームで作る介護計画とモニタリングについて。開所当初より職員全員でセンター方式に取り組んでいるが、「やり方が分からない」「情報の収集が難しい」などの声がたえずある。モニタリングに関して「どう書けばいいのか分からない」「毎月やるのはなぜ？」などの疑問もあるようだ。	センター方式によるアセスメントの意義や情報収集・記入方法を職員全員が理解し、自発的にシートを記入できるようにする。モニタリングに関して、全員が意義を理解し自発的に期日を守り実施できるようにする。	ゾーン会議などの機会を利用した「ミニ勉強会」の開催。お互いの書いたセンター方式シートを見せ合うことにより、意見交換や議論を促す。また、センター方式の取り組み同様に個別支援計画についても基本から全員が理解できるように「学び合い」の機会を設け、疑問点などを共有する。分からないことをそのままにせず、解決できるようにする。以上のような取り組みを通じ、職員全員で個別支援計画を作り、実施していることを職員全員が理解できるようにする。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。